

議会だより

No. 128

令和7年5月1日 発行
(2025年)



表紙の作品

第6回観光協会観光フォトグランプリより

題名『里山の春』

撮影者：厚目 正さん

撮影場所：阿諏訪地内

2～3P

令和7年度予算概要

4～5P

令和7年度予算 ここが聞きたい

6～8P

3月議会ではこんなことが決まりました他

9～15P

一般質問13人が登壇



MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

令和7年度予算決定！

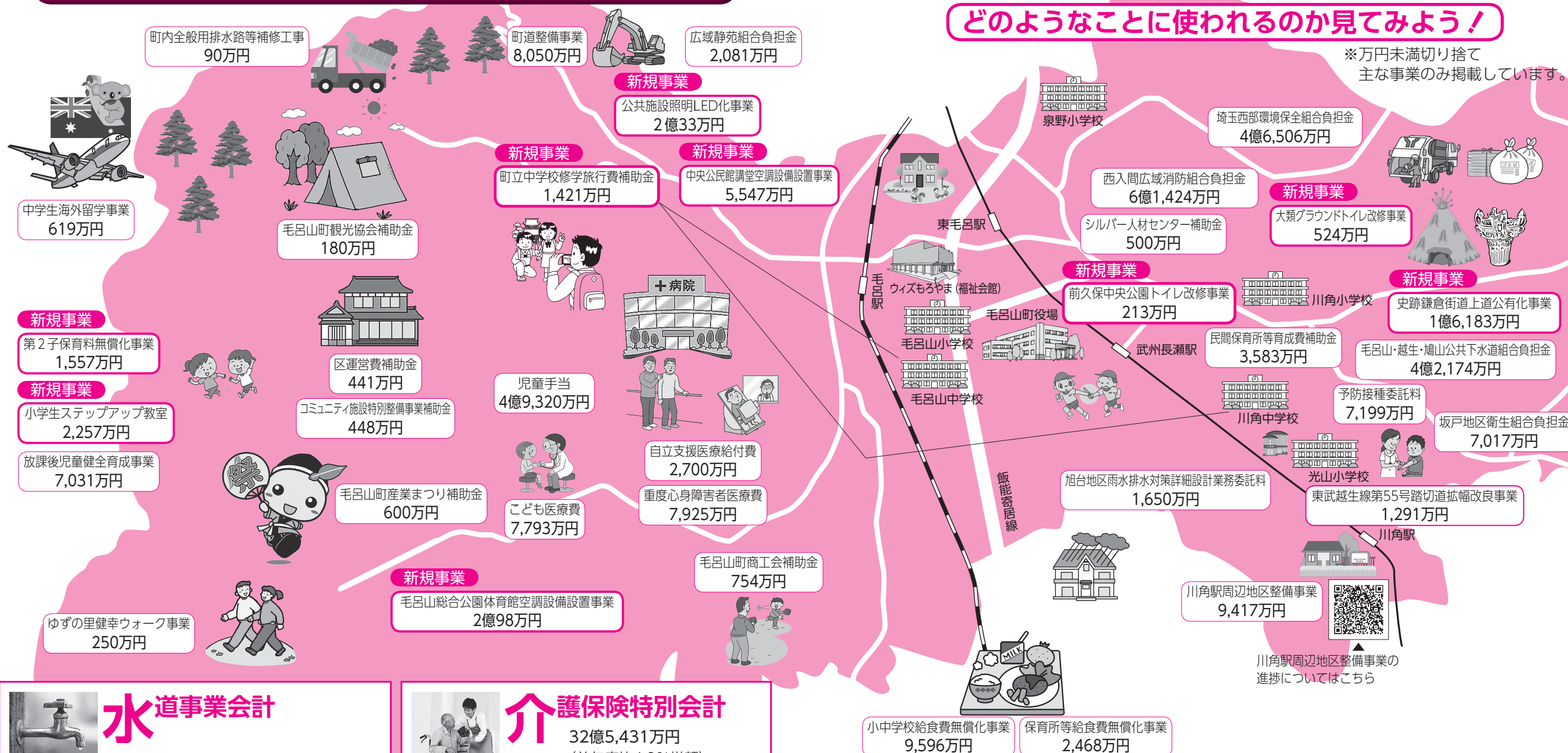
118億600万円

一般会計予算

3月
定例会

どのようなことに使われるのか見てみよう！

※万円未満切り捨て
主な事業のみ掲載しています。



令和7年3月議会定例会は、3月3日から3月19日までの17日間の会期で開催されました。今定例会に提案されました案件は、条例の制定1件、条例の一部改正10件、補正予算5件、当初予算6件、報告1件、請願の取下げ2件、決議1件、発議1件、発委3件、合わせて29件が上程され慎重なる審議をいたしました。

一般質問は、議員13名が登壇し、活発な質問が展開されました。

水道事業会計

日常生活に欠かせない生活用水を安全供給するための予算です。とくに老朽管の布設替え、および老朽施設の改修を積極的に行います。

- 【収益的収入】水道料金など
8億4,241万円（前年度比1%減額）
- 【収益的支出】水道施設維持管理、県水受水費など
7億5,956万円（前年度比1.4%減額）
- 【資本的収入】企業債など
8,431万円（前年度比18.8%減額）
- 【資本的支出】配水施設整備など
3億6,477万円（前年度比22.4%減額）

介護保険特別会計

32億5,431万円
（前年度比4.2%増額）

介護を必要とする人や、介護予防が必要な人が、安心して生活を送るために使われる予算です。

農業集落排水事業会計

【収益的収入】4,317万円 【資本的収入】1,534万円
【収益的支出】4,317万円 【資本的支出】1,999万円

農村地域の生活環境向上を図るために、汚水の処理を行います。現在は主要な処理施設の建設が終了し、施設維持管理費用が中心となっています。

特別会計予算

国民健康保険特別会計

36億9,665万円
（前年度比0.07%増額）

医療保険制度の基礎的役割を果たしている国民健康保険。いざというときに安心して医療を受けることができるために使われる予算です。

後期高齢者医療特別会計

6億5,656万円
（前年度比0.4%増額）

75才以上（65才以上で一定の障害があると認定された方を含む）の方が安心して医療が受けられるように、制度の維持・運営に使われる予算です。

町には、一般会計のほかに、3つの特別会計と2つの企業会計である農業集落排水事業会計と水道事業会計があります。一般会計が町の行政運営の基本的な経費を計上しているのに対して、特別会計は特定の財源を特定の支出に充てて経理を行います。

ずばりココが聞きたい！



609項目の
質疑あり！

予算決算常任委員会の主な質疑

本委員会は議長・監査委員を除く12名の議員で構成しています。
※万円未満切り捨て

当初予算は行政における一年間の事業の予定を表す非常に重要な
町に役立つことに支出されるのかどうかを審議するものです。

ものです。予算審議は、広く客観的に、住民全体の立場に立つて、

危険ブロック塀等撤去費補助金

20万円



出典：(一財)消防防災科学センター

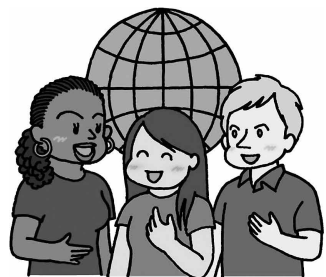
問 危険ブロック塀等撤去費補助金が計上されているが、危険なブロック塀の場所を町は把握しているのか。

答 通学路沿線については、今年度、巡視して把握した。

観 危険ブロックは命に関わる問題。

小中学生英語検定受験料補助金

63万円



問 対象人数は何人か。

答 小学生5、6年生 405人、中学生1年生から3年生 666人、合計1071人。

観 対象人数に対し受験数が少ない。もっと児童生徒の受験意欲が湧くような周知、啓発を行うべき。

緊急通報システム委託料

164万円



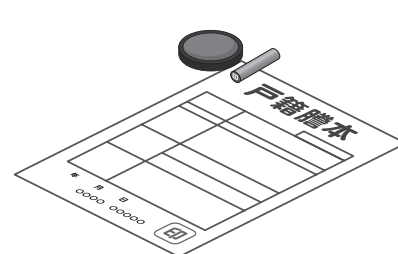
月額 962 円～

問 独居世帯が多く存在する中、事前相談が可能で、有事には即座に外部に連絡がとれるシステムは今後必要であり、周知が急務。

答 町のホームページや公式LINE、チラシやケアマネへの周知などを強化していく。

戸籍住民基本台帳費

1,366万円



問 戸籍に関する支出が多いのはなぜか。

答 戸籍システムの標準化及び振り仮名の法制化に対応するもの。

問 現行システムは夫婦別姓に対応しているか。

答 対応していない。法案が成立した場合には対応することになる。

放課後児童健全育成事業委託料

7,031万円



問 学童保育所職員を増員した受入体制の準備は。高学年児童の受入は。受入の期間は。

答 職員を4名確保し、全ての学童保育所で受入体制は整っている。1年生から6年生を対象に受け入れる。受入は夏休み期間中。

部活動外部指導者謝金

15万円



問 部活動外部指導者移行に対する事業内容は。

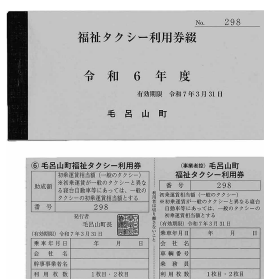
答 国の指導内容に沿って行っていく。

問 移行できるものから順次対応していくべきと思うが如何か。

答 外部指導の協力をして頂ける方々と調整を図り進めていきたい。

福祉タクシー補助金

240万円



問 タクシー券の支給対象者の決定要件と支給内容を伺う。

答 障害者手帳1級と2級の方等に500円券36枚綴りを支給している。

問 障害者のタクシー券と自動車燃料費の選択肢の導入は出来ないか。

答 今後、検討していく。

町立中学校修学旅行費補助事業

1,421万円



問 ねらいとメリットは。

答 中学生に思い出をプレゼント。子育て世帯の経済的負担軽減、子どもたちの健全育成、町への愛着形成。

観 子どもたちの夢を育む事業であり、毛呂山町の魅力アップにもつながる。

学校給食費無償化事業

9,596万円



問 私立の小中学校の児童生徒は学校給食無償化事業から対象外だ。

答 近隣自治体の動きなど参考にしている。

問 毛呂山の「子どもたち全員に」支給を。

答 国の動向も参考に検討して行きたい。

個人版ふるさと納税事業

1,522万円



問 7年度のふるさと納税収支見込みは。

答 3,200万円に対して経費分2分の1と流出税の25%を差引いた額の2分の1を創成舎に補助金として支出する。町職員人件費を考慮すると赤字となる。

鎌倉街道上道公有化事業

1億6,183万円



問 公有化後の維持管理費は。

答 現時点では不明。

観 会計検査院や財務省からも様々な指摘がされており、維持管理に関するものが多い。保存だけでなく、町民、国民から愛される環境作りを望む。

東武越生線第55号踏切道幅改良事業

1,291万円



問 本事業は、事業着手から長期間経過しており、町の課題とされていた。今回、東武鉄道との調整を踏まえた上での設計予算だと思うが、今後の概算工事費の見込について伺う。

答 詳細設計を実施してみないと不明である。

令和7年度一般会計予算 町長車借上料を削除する修正案可決!!

提出者 堀江 快治 議員

現在、町の財政状況は非常に厳しいものであり、今後も少子高齢化社会への対応といった問題解決のためには、本町にはさらなる財源が必要とされております。住民生活においても、電気、ガス、ガソリン代等の高騰をはじめ、急激な物価高騰の影響を強く受けており、家庭はもちろんのこと、地元商工業者を中心とした地域経済全体には疲弊感が漂っております。このような状況のなかで、町がアルファードという極めて高額な町長車を借り上げることに對して住民の理解が得られるとは到底思えません。住民からの税金は、町の問題解決や住民サービス向上のための施策に使うことが当然であり、修正案を提出します。

メンテナンスリース契約の概要

令和7年度予算額 約91万円
リース総額約682万円。5年後、車両返却か更新を選択できる。

メリット

重量税、保険や車検等、維持管理費はリース費用に含まれており、町の維持管理負担軽減が図られる。

デメリット

一般的に購入より割高。
所有権はリース会社。

討論 修正案に賛成します

長瀬 衛 議員

少子高齢化への対応等で町財政は厳しく、ガソリン代等の物価高騰で地域経済が疲弊し、多くの町民も苦労している中、高級・高額な町長公用車アルファードの借上料の予算計上は住民の理解は得られない。

町長車については、身の丈に合った車種を選定すべきであり、ブラックホール型自治体の毛呂山町にそんな余裕はない。



刑事訴訟法の再審規定改正を求める意見書提出

概要

現行法に基づく過去の再審事件では、袴田巖さんの再審の例を見るまでもなく証拠開示が不十分で著しく遅かったこと、検察官抗告によって手続きが長期化したなどがあげられる。国においては、これらの課題を踏まえ、刑事訴訟法の再審規定の改正を強く求める意見書を毛呂山町議会として国に提出しました。

討論 意見書に賛成します

岡野 勉 議員

狭山事件で石川一雄さんは24歳で逮捕、無実を訴え「裁判のやり直し」を第3次再審請求で訴えました。しかし、無念にも再審決定に至らず、86歳の石川さんは死去されました。罪を犯していない人が冤罪によって自由を奪われ、生命さえ奪うもので絶対にあってはなりません。国において、再審規定の改正を強く求めます。

令和6年度一般会計補正予算

令和6年度一般会計補正予算が可決されました(8668万8千円の減額)。主な歳出項目として、消防費の災害用トイレトラックの備品購入費、2621万9千円が計上されました。

Q トイレトラックの購入にあたり新しい交付金を利用した理由は。

A 国が新たに設けた優位な交付金で、これは、各自治体の先進的な防災の取組や災害発生時における様々な課題を解決するための事業に対し支援されるため、活用する。

討論 補正予算に賛成します

荒木 かおる 議員

災害用のトイレトラック購入は、新たな国庫補助金を活用する事で、町の財政面でも効果的に事業を進められるもの。町が避難所環境と併せ、財政状況を考えた上での補正予算であり、大変評価できる。今後も災害時の住民の安全、避難所環境改善や防災体制の充実により、災害に強いまちづくりを目指して頂くことを願います。

毛呂山町では、埼玉県が策定した「第3期埼玉県国民健康保険運営方針」を踏まえ、令和9年度に予定されている保険税水準の準統一に向けて、令和7年度から急激な負担増に配慮するため、計画的に国民健康保険税率の見直しを行うこととし、令和7年度については下表のとおり改正されます。

町側からは、令和8年度以降も段階的に、国民健康保険税率の見直しを行っていく予定であるとの説明がありました。

【令和7年度 国民健康保険税率の改正内容】

年度	区分	医療分	支援金分※	介護分	合計
6年度	所得割	7.0%	2.5%	2.2%	11.7%
	均等割	32,000円	10,000円	10,000円	52,000円
7年度	所得割	6.9%	2.71%	2.26%	11.87%
	均等割	42,300円	16,300円	16,200円	74,800円

※支援金分…後期高齢者支援金分

所得割と均等割とは

所得割は前年の所得（基礎控除額43万円を差引後）に所得割の税率をかけて算出します。また、均等割は国保の加入者数に均等割の税額をかけて算出します。

均等割には軽減措置があります

前年の所得が一定以下の世帯は、所得の状況に応じて均等割が軽減されます。また、義務教育就学前のこどもは、均等割が2分の1軽減されます。

討論 国民健康保険税改正に 反対します

岡野 勉 議員

提案された国保税の引き上げは、町の標準世帯（夫婦子供1人）で約15%、額にして年間6万5000円の大幅な引き上げだ。物価高は賃上げを上回り、町民生活は危機的状態にある。なお、今後1年間で1万品目の食料品の値上げが予想されている。本町の生活保護率は県内1番で町民の生活を守るためにも引き上げに反対する。

中村 奨平 議員

本改正では一定の所得がある現役世代、子育て世帯への影響が非常に大きいものとなっている。増大する高齢者医療費を現役世代で支える構図は限界に達しており、目先の赤字解消ではなく、現役世代の過度な負担を軽減し、応益負担強化等の抜本的改革を進めることが先決である。我々は制度のために今を生きているのではない。

国民健康保険特別会計予算案 可決

上記条例改正可決を受け、国保税の税率改正による引き上げ分を反映した予算案が提出されました。

討論 国民健康保険特別会計 予算に反対します

小野 浩 議員

所得が低い世帯も国民健康保険税が高くなると、病院に行くのをためらってしまう。本来、国はもっと町を支えるべきである。せめて協会けんぽ並みにする。町の努力を認めた上で、国の方針への抗議の意味を込めて本予算案に反対する。



※イラストはイメージです。

新規条例

毛呂山町水防団条例 可決

主な内容

・町独自に水防事務、事業を実施する。管轄区域は毛呂山町全域。
・毛呂山消防団の組織をもって水防団の組織とする。

制定理由

坂戸市、毛呂山町、越生町を構成市町として、越辺川・高麗川水害予防組合を設置し、活動していたが令和7年3月末に組合が解散となるため。



水防団は、水害による被害を最小限に防ぐために活動する防災組織です。水防法に基づき、都道府県知事が指定する指定水防管理団体に設置が義務付けられています。



A

Q

A

Q

A

Q

A

Q

A

Q

主な質疑

しっかり団員確保を検討すべきと思うが如何か。
西入間広域消防組合、また、各団長と協力、連携しながら1人でも多くの団員確保に町としても努める。

令和元年台風、令和4年豪雨。訓練・演習は毎年。

活動の実績は。

39名。

団員のうち、町の職員は何名か。

本部12名 第1分団33名 第2分団28名 第3分団18名 第4分団19名 第5分団22名。

編成は。

水防団の団員数は。定員155名で実数は132名。(女性8名)

臨時会

1月14日臨時会開催。物価高騰対応臨時交付金を可決!!

討論 私は賛成します

千葉 三津子 議員

国の総合経済政策における予算が12月17日に成立しました。それを受け、公明党議員団として、12月20日に要望書を町長に提出させて頂きました。町の低所得者の皆様のため、速やかに予算計上させて頂き感謝申し上げます。今後も町民重視のスピード感をもった行政運営に期待します。

A

Q

A

Q

A

Q

主な質疑

225世帯410人。

こども加算の給付対象は。

1752世帯3028人。(公務員世帯を除く)

18歳以下の子どもを扶養する世帯数は。

2人世帯で給与収入約137万円以下、年金収入約192万円以下が非課税世帯の収入目安。

低所得者対象世帯年収の基準は。

2人世帯で給与収入約137万円以下、年金収入約192万円以下が非課税世帯の収入目安。

主な内容

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金として2億3659万7千円・低所得者(非課税世帯)に3万円支給、そのうちこども加算2万円支給

・医療機関支援金 1061万円等

●議案の審議結果(1月臨時会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案		議員名														中村 奨平	佐島 啓晋	小野 浩	平野 隆	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かおる	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	下田 泰章	審議結果
補正 予算	一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決				
再議	令和6年発議第4号 長瀬衛議員の農業委員の任命過程調査特別委員会委員長不信任を求める動議（再議）※	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	除斥	×	議	否	決													

※当該議案(再議)は、昨年12月定例会において審議事件と利害関係を有する議員を除斥をしないまま審議を行ったため、再議に付され再度議決をしました。(除斥とは、議会における審議の公正を期するため、審議事件と一定の利害関係を有する議員はその審議に参加できないとする制度です。)

一般質問

町政を問う!

~13名が登壇~

- 障害者支援の充実
- 教育・子育て環境の充実
- 循環型社会

小峰 明雄

- 保育園入所募集停止期間の廃止
- 町営住宅の空き部屋対策
- マイナンバーカード紛失等の対応
- 学校説明会の状況

佐島 啓晋

- 介護負担を軽減できる寄り添った地域社会の構築を
- 通学路の安全確保

千葉三津子

- 町の文化向上
- 投票率の向上
- 町の安全対策

荒木かおる

- 第6次総合振興計画で目指す町づくり

長瀬 衛

- 高齢者支援
- 人口減少対策
- 当町の調整区域
- 町道

平野 隆

- 少子化対策

中村 奨平

- 救急車の適切利用
- デフリンピック東京大会

澤田 巖

- 学校統廃合
- もろバスとデマンドタクシー

小野 浩

- 川角小・光山小・泉野小廃校計画の撤回を求める請願
- 令和7年度予算

高橋 達夫

- 高齢者福祉
- 福祉会館のバリアフリー化
- 公共施設使用料の見直し

佐藤 秀樹

- 毛呂山町の学校統廃合
- 学校給食の無償化

岡野 勉

- 学校統合問題
- もろやま創成舎

堀江 快治

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

障害者就労施設等の庁舎内ロビー販売の啓発は 今後、町ホームページ上での周知を図る



小峰 明雄

問 連続118回目の一般質問。令和6年度の小学校費・中学校費の予算執行の所見は。

答 川角・光山・泉野小学校の体育館トイレ改修。小学生の国内交流事業を実施。中学生学力アップ事業を実施。

問 教職員の働き方改革は。

答 1か月の時間外在校等時間を45時間以内にするための取り組みが、なされている。

問 各学校の雨漏り調査、特に毛呂山小学校の原因等の調査は。

答 原因が特定できない雨漏りが発生、職員が継続して調査中。毛呂山小学校の4年生トイレ、新年度に向けた対応策は。

問 教室近くのトイレを使用。児童生徒の歯と口の健康保持に、給食後の歯磨きは。

答 口腔環境の健全化に向けて創意工夫した取り組みを実施。アレルギー等の理由で、お弁当を持参している児童生徒に学校給食費相当額の補助は。

問 学校の自治体の状況を情報収集し、適切な補助について研究。

問 若者の定住促進には、児童生徒に郷土愛を育む事は重要、ふるさと学では。

答 学校教育との連携を深め効果的に事業を進める。令和6年度、少子化対策・子育て支援対策は。

問 子育て世帯訪問支援事業を実施。児童保育所では、デジタルドリルを活用した学習支援事業を実施。

答 子育て世帯訪問支援事業を実施。児童保育所では、デジタルドリルを活用した学習支援事業を実施。

問 ごみ減量・リサイクル令和6年度の取り組みは。



障害者就労施設等からの物品・役務の更なる調達を

保育園入所募集停止期間を廃止できないか！

【答】令和7年度より通年で入所募集を受け付ける



佐島 啓晋

【問】保育園の途中入所募集停止期間が11月半ばから4月上旬まであり入所できない状態であると住民から指摘があった。「こども真ん中社会」実現のなかで、

この措置は廃止できないか。

【答】こどもの権利を保障し、健やかな成長を後押しし、抜け落ちることのない支援が必要であると認識している。令和7年度より、通年で途中入所受付を実施し、各園の状況に応じて入所調整をしていく。

【問】町営住宅の空き部屋対策として、子育て世代にも入居できるように施策はないか。

【答】町営住宅の空き部屋対策として、子育て世代にも入居できるように施策はないか。

【問】国土交通省より総合的な少子化対策の一環として、令和5年12月に、子育て世帯等に対して一定の要件を満たす場合には目的外の使用を認める旨の通知が発出された。これを受けて杉ノ入団地において子育て世帯等に向けた住宅支援事業を実施。

【問】マイナバーカードやマイナ保険証の現状はどうか。

【答】令和7年1月31日現在のマイナバーカードの保有率は、75%で、令和6年12月診察分のマイナ保険証利用者は3966人、利用率は40%である。マイナ保険証の登録を解除した人数は10人で0.2%。



保育園の入所募集停止期間がなくなった！

認知症の家族介護者の負担軽減を

【答】先進自治体を参考に取り組む



千葉三津子

【問】家族が介護するケースでは、特に認知症になった場合が多いのが現状だ。今後も更に高齢化の波が押し寄せるなかで、介護負担の軽減は必須の課題である。

介護負担を軽減する「ユマニチュード」という技術も含め町の対策及び体制を伺う。

【答】家族介護教室や認知症家族介護者の集い、認知症相談会を実施してきたが、身体的な介護より難しいとの声が多い。介護を受ける側にとっても大きな負担となっている。認知症の人や家族、専門家等の意見及び先進自治体の取組等も参考にユマニ

チュードの普及を検討する。

【問】所得の関係や独居世帯のため、日々不安な気持ちで苦労されている方についてのお考えは。

【答】今年度を実施した「高齢者実態把握調査」を今後も更に継続しながら把握に努める。

【問】認知症の人やその家族も安全・安心に暮らせる地域社会の構築について、どのような支援体制を構築していくのか伺う。

【答】地域包括支援センターでの相談体制の充実を図ることや全ての世代に対する理解を深められる地域づくりを進めていく。

【問】ユマニチュードを広げることとが認知症ケアの安心感に繋がると考えるが如何か。

【答】ユマニチュードに関する研修会への参加や普及を進める自治体の取組を参考に普及啓発を検討する。

【問】通学路の安全確保

【答】子どもを犯罪や事故から守る通学路の安全確保は重要だ。通学路の改善状況や今後の取組を伺う。

【問】当初の計画に加えて随時必要な対応を行い、今後は道路標示の引き直し事業を予定している。安全な通学路の確保に努めていく。

ユマニチュードの基本「4つの柱」について

見る 触れる
話す 立つ

介護負担を軽減するユマニチュード

福祉会館エレベーターを有効活用しギャラリーを

答 作品等発表の幅が広がると考えられる



荒木かおる

問 福祉会館のエレベーターを有効活用し、2階にギャラリーを設置の見解を伺う。

答 福祉会館の指定管理者及び担当課と協議をする場を設けた

問 全国的に選挙の投票率低下が課題とされている。投票率向上のための施策を検討するべき。商業施設への期日前投票所設置のお考えはいかがか。

答 スーパー等の集客施設への期日前投票所の設置は、投票率の向上に寄与するものと認識している。一方、セキュリティ面の確保、また、本町の人口規

い。

模や面積、投票管理者や事務従事者、投票立会人の確保という観点から、期日前投票所をもう1か所増設し3か所設けることは厳しい状況である。

問 県内でも既に実施している自治体があり懸念事項をクリアされていると考えるが、調査研究は行っているか。

答 昨年の衆院選で、商業施設に期日前投票所を設置した県内の4市に対し調査を行った。内容は、導入費用や選挙執行時の運用費用の他、システム構築方法、投票用紙や投票箱の管理方法等について確認した。

問 八潮市で発生した道路陥没事故を踏まえた上で、町として道路や水道管等のインフラ施設の更新について今後の方針や計画を伺う。

答 道路の舗装については、地区からの要望や通行者からの情報提供、職員の見回り等を維持管理の判断材料としている。上下水道などの占用事業者とも情報共有を密にして危険な箇所を把握し、舗装の打ち替え等の対応をし、安全・安心の町づくりのため、道路インフラの整備・更新に努める。

市街化調整区域への住居系ゾーン設定は法に反する

答 市街化調整区域に人口政策として定住促進を図る



長瀬 衛

議論が必要である。

答 今後も少子高齢化に伴う大幅な人口減少が進行していく。地域コミュニティの希薄化や空き店舗、空き家問題の拡大が危惧される。計画的かつ効果的な少子化対策が極めて重要になる。

問 都市再生特別措置法では、市街化調整区域に居住誘導区域は定めないと規定している。今後の土地利用計画として市

街化調整区域への住居系ゾーンを設定し、定住促進を図るとい

うが、違和感がある。

6年前には、市街化区域における空き家の増加等により、住宅施策等の都市計画を大きく見直さざるを得なくなったとし、法34条11号を見直した。住居系ゾーンを市街化調整区域に指定することは辻褄が合わない。

答 人口減少や少子高齢化を少しでも食い止めるために市街化調整区域に人口政策の取組みを進め、定住促進を図っていく。

問 少子化対策として、豊かな心の育成、学びの機会の創出、

将来を切り拓く力等を育てるとともに学力向上や不登校対策としても少人数学級を推奨する。

その為にも、小学校同士を統合して川角中、毛呂中との施設分離型・隣接型一貫校を検討し、少人数学級が両立することが好ましい。その場合、5年後、10年後の見通しは。

答 5年後、10年後とも小学校は各学年2クラスを維持する。



市街化区域に増え続ける老朽化した空き家



身体の不自由な方も2階の利用が可能に

町は単身高齢者世帯を把握しているか

答 把握している



平野 隆

し他に交通手段が無い為、免許の自主返納を躊躇している。

現在、また今後の対応策は。

答 もるバスの活用、また地域ボランティアの活動連携、生活支援体制整備事業を社会福祉協議会へ委託をしている。

問 免許証の自主返納を躊躇している世帯を把握しているか。

答 民生委員からの情報提供により把握している。具体的な内容としては、買い物や受診に對

2024年町内出生者数は

答 93人



中村 奨平

でおり、町として高いレベルの子育て事業と自負している。

問 ソフト面は充実してきた。ハード面でも川角駅前再整備事業や小中学校統廃合、企業誘致等、町にとって転換点となるような事業が続く。若者に選ばれる街づくりの考えは。

問 町長の任期も残り2年。依然厳しい中、どう取り組むか。

答 令和7年度における子育て施策は町独自施策を含めて近隣市町と比較しても多く盛り込んだ

社法人の協力を仰ぎ、デイサービス送迎車の空き時間を活用し、スーパーまでの送迎をする等の、「ふれあいショッピング」を実施している。東原団地では、区長さんが中心となり、通院と買い物に困っている高齢者を自家用車による送迎等を試験的に始めている。4月から本格的に実施していく予定。

問 人口減少対策の考え方は。

答 国が10年前から取り組んできた地方創生の結果を見ても、国内全体の出生数は想定より、遥かに早く少子化が進行してい

る。人口減少対策は、非常に困難であると考えている。

問 人口減少対策の考え方は。

問 当町の市街化調整区域の中で、市街化区域に編入できそうな場所はあるのか。

答 人口減少対策の考え方は。

問 過去に水道管破損による陥没事故が起きた。今後、定期点検やパトロールを実施していく予定。

問 人口減少対策の考え方は。

問 当町において、過去に道路陥没等の事故はあったのか何う。

問 人口減少対策の考え方は。

問 過去に水道管破損による陥没事故が起きた。今後、定期点検やパトロールを実施していく予定。

問 人口減少対策の考え方は。

問 当町において、過去に道路陥没等の事故はあったのか何う。



高齢者に優しいまちづくりを

	入学者数	通常学級数
毛呂山小学校	51	2
泉野小学校	28	1
川角小学校	26	1
光山小学校	19	1
合計	124	

2018年出生数	123
2024年出生数	93

コロナ禍から100名前後の出生数が続いており、毛呂山小学校以外は、今後継続的に単学級になる見込み。

止まらない少子化、減り続ける児童数

救急車の適正利用の促進を

答 積極的に周知していく



澤田 巖

問 超高齢社会の日本、救急出動件数は全国的に右肩上がり。軽症の搬送率が高く不急的な救急要請が多いとの報道がある。救急車を呼ぶべきか迷う例は。

答 高齢者世帯の場合、家族が苦しんでいる場合など一人で判断できない例があると聞く。
問 家族を思えばかりに救急車を手配する判断に迷う場合は埼玉県救急電話相談#7119を活用すべきである。その制度の対応内容など具体的に。

問 非常により取組であるが、町民はその存在を知らない方が多い。救急電話相談は地域の限られた医療資源である救急車を有効に活用する一翼を担うもの。町民周知の強化を。
答 町ホームページや公式ライン等で積極的に周知していく。デフリンピック東京大会

問 令和7年11月に東京にてろう者のオリンピックが行われる。本町では令和元年6月議会にて全会一致で手話言語条例が制定された。デフリンピックが行われるこの機に手話の普及を推進すべきではないか。
答 手話は言語であるとの認識に基づき、手話に対する理解と普及、手話を使いやすい環境整備を図り条例が目的とする「ろう者とう者以外の者とが共生することのできる地域社会の実現」に最善を尽くす。

小学校用体育館建設の計画は

答 中学校の施設を使う



小野 浩

問 川角中学校区施設一体型小中一貫校に小学校用の体育館をつくる計画はあるか。

答 計画では小学校高学年は中学校体育館を使用する。一年生から4年生は中学校の体育館を使用することもできるし、授業内容によっては、武道場の中で体育的な運動が可能と考えている。
問 保護者アンケート調査に「せっかく川角小学校・光山小学校の体育館があるのだから、あるのを使えばいい」とあるが。

答 小中学生の交流を通して、人間形成や学習の進度を確保していくためには施設一体型の学習環境が望ましい。
問 川角中学校区の施設一体型小中一貫校ではプールをなくす計画だが、町にある一つのスイミングスクールで水泳の授業ができるのか。

答 2つの民間施設を活用することを前提に計画する予定。
問 バス送迎での水泳指導は、時間のロスが多く効率が悪いという話を実際に実施した学校職員に聞いたが。
答 授業時間と送迎時間を検討し、年間を通して学習が成り立つような準備をしていく。もうバスとデマンドタクシー

問 令和7年度のもろバスの計画について伺う。
答 もろバスを2台増やす。発車回数を397回から800回にする。山コース以外を往復運行形態にして移動時間短縮。停留所を13か所新設。

問 デマンドタクシーの今後の見通しについて伺う。
答 高齢化の進行に的確に対応するため、先進地の導入状況や、運行形態、メリット、デメリットなどを調査・研究を実施し将来の導入を検討していく。



小学校専用の体育館は学校教育に必要なだ

病院に行く？救急車を呼ぶ？

迷ったら電話相談

#7119
しゃーぶ な な い ち い ち きゅう

埼玉県救急電話相談
24時間 365日対応

緊急性がある方の利用を最優先に

小学校廃校計画撤回の請願理由に誤りはないか

答 指摘されている小学校改修状況等の一部に相違がある



高橋 達夫

の川角小・光山小・泉野小廃校計画の撤回を求める請願理由にはすべての小学校の老朽化対策は終了し、エアコンも各教室に完備されているとあるが、それは事実か。

問 請願の理由は交通事故が多いから信号を設置してくれとか大雨で冠水するからその対策をお願いするとか事実に基づいた理由がなければならないが、こ

泉野小跡地を福祉施設にしたら如何か

答 できる限りその方向でいける様に検討する



佐藤 秀樹

に対し今後は、認知症に関する施策が重要と考える。

問 認知症に関する施策は重要である。まずは自分の健康状態を把握する事から始めなければならぬと思うがどの様に考えているのか。

問 高齢者福祉に対する現状と今後の対策は。

答 令和7年2月時点での高齢者福祉施設における入居待機状況は147人だ。また介護予防

問 来年度に「脳の健康セルフチェック事業」を実施していく事を考えている。

策が必要となる。
エアコンの設置状況はすべての教室には設置していないので余裕教室を使用する場合は新たにエアコン設置工事が必要だ。
問 この請願は平成25年から町の教育委員会が計画している計画について、議会がどう判断するのかを問われている重要な問題だ。10日に総務文教常任委員会、19日に本会議で審議が行われる。その審議を是非、教育委員の全員が傍聴してほしい。教育長要請をしていただけるか。
答 できる限り教育委員の協力を求めている。

令和7年度予算について

問 令和7年度予算編成の基本方針は。

答 「みんなで作る 住みやすい町 住み続けたい町 もろやま」実現を基本理念として編成をしている。

問 118億円と過去最大の大型予算となった理由は。

答 物価高騰や人件費の上昇に加え、総合公園体育館や中央公民館講堂への空調設備導入など大型の普通建設事業費が計上されていることが主な要因である。

て初めて災害対策だと思いが如何か。

答 玄関については直ちにインターホンを設置する。2Fのトイレは検討してできるだけ対応する。登り口については今後、検討課題とする。

公共施設使用料の見直し

問 物価高騰による維持管理費などを考えると、今が改善の時期と思うが如何か。

答 行財政改革プランに基づき、令和7年度中に一定の方向性をお示ししたいと考えている。



廃校が検討されている泉野小学校

1	件名	「川角小・光山小・泉野小の廃校計画の撤回」を求める請願書
2	請願の要旨	川角小・光山小・泉野小の廃校計画を撤回し、施設分離型小一貫校に転換することを求める。
3	請願の理由	毛呂山町は、2月に小中学校編成計画を策定しました。それは、約14億円をかけ、2029年度に川角小・光山小を川角中の敷地に統合、泉野小を毛呂山小に統合するというものです。 この計画により、川角小・光山小・泉野小が5年後には廃校になってしまいます。使用されない校舎は痛みを著しく、毛呂山小の敷地が一面に穴だらけとなり、その地域からは子どもたちの声も消え、活力が失われます。 また、統合により、今までのように少人数を詰め込んだままの授業が難しくなります。また、施設の一部が利用中止となり、地域も寂しくなり、のびのびと活動ができなくなります。児童・生徒に健康を害する多くの問題が出てくることを予想されます。 川角小は150年の歴史があり、光山小・泉野小も住民に支えられ、地域の宝となっています。これらの小学校では、老朽化対策は終了し、エアコンも各教室に完備されています。また、今年度には体育館・特別教室にもエアコンが設置されます。多くの費用をかけて整備された小学校を施設分離型小一貫校として廃止し、空き教室を住民のための施設として活用すれば、地域の活性化を図ることもでき、地域で子どもたちを見守り続けることができます。 住民説明会やパブリックコメントでは、計画についての疑問や反対の声が圧倒的でした。町議会も統合計画に賛同はしていません。毛呂山町の児童数は近隣の町村と比べても多く、統合する必要はありません。町は、保護者・住民の声を聞き、子育てしやすい環境を整えるべきです。 よって、川角小・光山小・泉野小の廃校計画を撤回し、現状のままの校舎を利用し、施設分離型小一貫校に見直すことを求めます。
	上記のとおり、地方自治法第124条の規定により、署名を添えてお願いいたします。	

請願の主旨と異なる表現があり取り消された小学校廃校計画撤回の請願

保護者・町民は小中一体型を望んでいない！

答 アンケート「おおむね理解」が8割ある



岡野 勉

問 昨年10月に行った学校編成計画に対する保護者アンケート結果について多くの疑念が町民、保護者から出されている。全体的には、賛成とした人で

答 アンケートで約8割の保護者も統合後の中学でいたずら・いじめの心配があり不安だ。特に多い意見は、①小中学校は別が良い②今ある校舎を大切に使う③通学路が心配だ。このまま一体型を進めることは、アンケートに回答した多くの人の信頼に反する。まずは一旦学校編成計画は撤回し、充分意見を尊重すべきだ。

者が学校編成計画に、賛成して頂いている。
問 とても賛成しているとは言えない。その証拠にアンケートの意見欄には1700件を超えるコメントが寄せられている。町自慢の乗り入れ授業には関心が薄いようだ。それよりも大事なものは、この保護者の意見を全て加工せず、原文を町民にHPで公開すべきだ。町は1文字も手を加えてはいけない。
答 町は今後、意見をまとめた形で掲載したいと思う。

学校給食の無償化
問 今回で3度目の質問になる。前進面は県立特別支援学校の児童生徒は対象とした。しかし、なぜ私立の小中学生は対象外にしたか。
答 町立の小中学校を選んでもらえれば、問題なく支給対象になる。
問 学校給食費の無償化は毛呂山の子ども達全員とすべきだ、納得できない。私立の小中学生は何名か。
答 私立の小中学生は4名、中学生が13名の合計17名。年額108万円である。



今ある校舎を大切に使う！ 新たな増築はもったいない

今後川中区の児童数は激減する！ 一体型は無理！

答 学校編成計画を進めていく方針



堀江 快治

問 今後の児童数の推移を分析すると、近い将来に既存の川中校舎に、川角小、光山小の児童も十分に入ってしまうことが推察できる。教育委員会の想定は

答 既存の川中校舎に川小、光山小の児童が入りきる年度は令和16年度を想定。
問 莫大な予算をかけて新築校舎を建設する説明責任は。
答 中学校校舎は小学生低学年には適さない。
問 中学校の校舎が小学生低学年に適さないのは当然である。なぜ最も望ましい施設形態は中学校舎を中心とした施設一体型

校舎としたのか。
答 校舎の増設という話も出ていたもの。
問 今、教育行政に求められている最優先事項は、教育の自身の充実ではないか。
答 しっかりとソフト面の充実に取り組む。
問 学校編成計画で示されている施設整備費用は現在の物価高騰の中でも通用する金額なのか。
答 現実的な金額を示していく。
問 毛呂中区は施設隣接型、川中区は施設分離型の小中一貫校を目指し、貴重な財源を子ども達のためにも教育のソフト面に

重点配分するべきでは。
答 現在の学校再編計画の推進を目指して行く。
もろやま創成舎
問 今までのビジネスコンテストの現況と成果は。
答 1事業者は閉店しているが、今後事業内容等が進んでから検証する。
問 公金を投入しているビジネスコンテストは町の課題解決に繋がっているのか。
答 改善点は多々あるが、若者世代を呼び込む成果を上げていく。



今後児童数が激減するため、施設分離型が望まれる川角中学校

●議案の審議結果（3月定例会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案		議員名	中村 要平	佐島 啓晋	小野 浩	平野 隆	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かおる	千塞 津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	下田 泰章	審議 結果
新規 条例	水防団条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
一部 改正	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例・附属機関設置条例・職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例・職員の育児休業等に関する条例・職員の給与に関する条例及び職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例・企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等・地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例・水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険税条例		×討	○	×	○	○	○	○	○	×討	○	○	×	×	議	原案可決
当初 予算	一般会計	(修正案)	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○討	○	議	修正可決
		(修正部分を除く原案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	水道事業会計・農業集落排水事業会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険特別会計		×	○	×討	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	原案可決
	介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正 予算	一般会計（第7号）		○	○	○	○	○	○	○討	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険特別会計（第4号）・水道事業会計（第2号）・介護保健特別会計（第3号）・後期高齢者医療特別会計（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
請願 取下	「川角小・光山小・泉野小の廃校計画の撤回」を求める請願・再審法改正を求める意見書採択に関する請願		取 下 げ を 許 可														
発委	条例改正	議会委員会条例・議会の個人情報の保護に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	「農業委員の任命過程の事務調査に関する決議」に係る令和7年度の調査費用について		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
発議	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書の提出について		○	○	○	○	○	○	○	○	○討	○	○	○	○	議	原案可決

傍 聴 席

1月臨時会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
1月14日(火)	1名
合 計	1名

3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
3月3日(月)	0名
3月4日(火)	6名
3月5日(水)	14名
3月6日(木)	13名
3月7日(金)	9名
3月19日(水)	0名
合 計	42名

令和7年度より

毛呂山町議会 YouTube
配信がはじまります！

町議会本会議をインターネット上に録画配信することで、より多くの町民に開かれた議会として情報発信を行います。

配信スケジュール

令和7年度より開始。本会議から約2週間後に配信します。

詳しい配信予定日は議会事務局(☎049-295-2112 内線411)までお問い合わせください。

ぜひ傍聴にお越しください

町議会は、定例会が年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。この定例会、臨時会のいずれの議会も公開されています。議会の様子を知る良い機会ですので、気軽に傍聴してみたいかがでしょうか。

傍聴者の方へのお願い

- 議場における言論に対して拍手などにより可否を表明しないでください。
- 傍聴席では私語等は謹んでください。
- 帽子・マフラーの類は着用しないでください。（議長の許可を得れば着用可能）
- 傍聴席ではスマートフォン等の電源はお切りください。

あ と が き

昨今、夏の期間が前後に延び、過ごしやすく穏やかな春と秋の期間が極端に短くなったように思います。

地球温暖化によるヒートアイランド現象の影響は思わぬところで、私たちの季節感のズレを引き起こしています。四季折々の自然を大切に暮らしてきた日本の生活にも影響を与え、春にはサクラ、秋には紅葉を楽しんだり、旬の食べ物を味わったり、と季節の変化を感じる機会が失われつつあります。

豊かで素晴らしい日本の四季を守るために、環境について今一度自分に問いかけ、できることから取り組んでみてはいかがでしょうか。

荒木かおる

編集委員

委員長
副委員長
委員

アドバイザー
(議長)

澤田 巖
荒木 かおる
中村 奨平
佐島 啓晋
小野 浩
佐藤 秀樹
下田 泰章